

平成30年度 第1回熊本県道路メンテナンス会議

日 時：平成30年 7月23日（月）

場 所：熊本県建設技術センター

13：30～（2時間程度）

議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 題

- | | |
|-----------------------------|-----|
| (1) 平成29年度 点検実施状況（H30.3末時点） | 資料① |
| (2) 平成29年度 点検結果（H30.3末時点） | 資料② |
| (3) 平成30年度 点検計画の確認 | 資料③ |
| (4) 平成30年度 メンテナンス研修等の取り組み | 資料④ |

4. 意見交換・その他

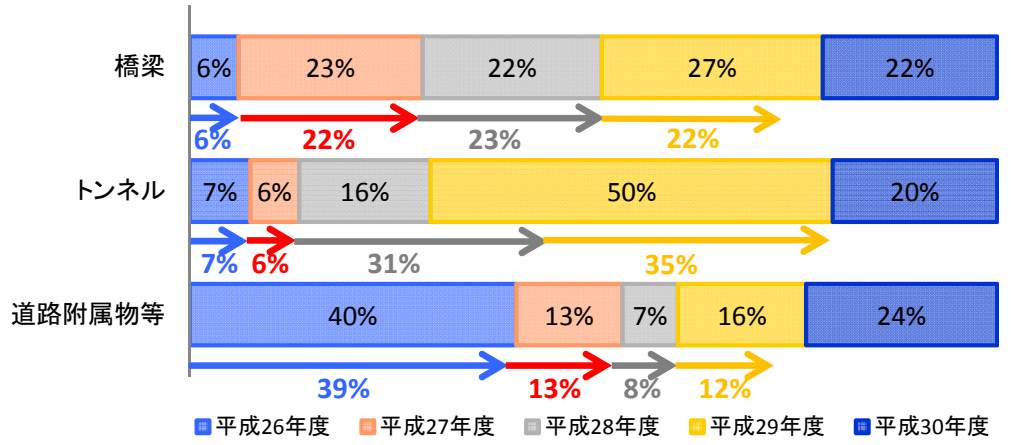
5. 閉 会

平成30年度 第1回
熊本県道路メンテナンス会議資料

平成30年 7月23日

○平成26年7月の省令施行を踏まえ、道路管理者は、全ての橋梁、トンネル等について、5年に1回の近接目視による点検計画を策定。平成29年度末の点検実施率は、橋梁約72%、トンネル約79%、道路附属物等約73%。

<5年間の点検計画と平成26～29年度の実施状況>



道路施設	管理施設数	点検計画数 (H26～H29)	点検実施数 (H26～H29)	点検実施率 (H26～H29)
橋梁	20,121	15,769	14,531	72%
トンネル	295	235	232	79%
道路附属物等	339	255	246	73%

※ H30.3月末時点
点検実施率は、端数により左図と合わない場合がある

<橋梁の点検方針>

コンクリート片の落下等による第三者被害の予防並びに路線の重要性の観点から、以下については、最優先で点検を推進

- ・緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋
- ・跨線橋
- ・緊急輸送道路を構成する橋梁

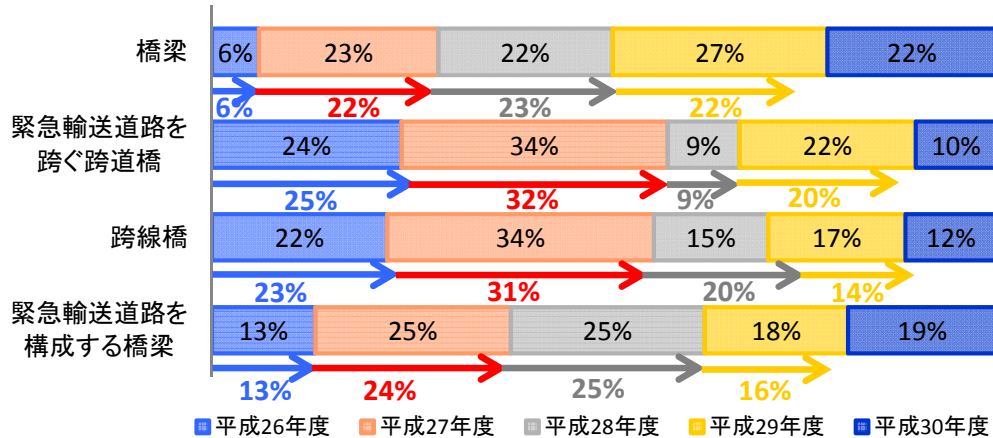
<橋梁点検状況(管理者別)>

管理者	管理施設数	点検計画数 (H26～H29)	点検実施数 (H26～H29)	点検実施率 (H26～H29)
国土交通省	545	419	417	77%
高速道路会社	365	315	315	86%
地方公共団体	19,211	15,035	13,799	72%
合計	20,121	15,769	14,531	72%

熊本県の点検実施状況(橋梁)

- 最優先で点検すべき橋梁の点検実施率（平成29年度まで）は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋約86%、跨線橋約88%、緊急輸送道路を構成する橋梁約77%である。
- 跨線橋の点検には、鉄道事業者との協議や調整に時間を要するなどの課題が存在するが、ほぼ全ての鉄道事業者と今後の点検計画を確認しており、平成30年度までにすべての点検が完了する見込み。

＜最優先で点検すべき橋梁の点検計画と平成26～29年度の実施状況＞



	管理施設数	点検計画数 (H26～H29)	点検実施数 (H26～H29)	点検実施率 (H26～H29)
橋梁	20,121	15,769	14,531	72%
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	174	156	149	86%
跨線橋	103	91	91	88%
緊急輸送道路を構成する橋梁	2,538	2,057	1,953	77%

※ H30.3月末時点
 点検実施率は、端数により左図と合わない場合がある
 跨線橋は、歩道橋(跨線橋)を含む

- 熊本県の橋梁の点検結果は、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は2橋（0.05%）、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は243橋（5.6%）、判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は1,237橋（28.6%）。

<平成29年度管理者別点検結果(橋梁)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
国土交通省	545	108	81	27	0	0
高速道路会社	365	58	18	39	1	0
都道府県	3,615	641	543	78	20	0
道路公社	8	8	5	2	1	0
政令市	2,910	681	533	112	36	0
市区町村	12,678	2,830	1,664	979	185	2
合計	20,121	4,326	2,844	1,237	243	2

※ H30.3月末時点

○ 熊本県のトンネルの点検結果は、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0本、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は38本（37.3%）、判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は61本（59.8%）。

<平成29年度管理者別点検結果(トンネル)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
国土交通省	15	3	0	3	0	0
高速道路会社	53	6	0	3	3	0
都道府県	151	90	3	54	33	0
道路公社	3	0	0	0	0	0
政令市	5	0	0	0	0	0
市区町村	68	3	0	1	2	0
合計	295	102	3	61	38	0

※ H30.3月末時点

○ 熊本県の道路附属物等の点検結果は、判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0箇所、判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は4箇所（9.8%）、判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は25箇所（61.0%）。

<平成29年度管理者別点検結果(道路附属物等)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
国土交通省	151	19	9	9	1	0
高速道路会社	73	3	0	2	1	0
都道府県	55	2	2	0	0	0
道路公社	2	0	0	0	0	0
政令市	45	14	0	12	2	0
市区町村	13	3	1	2	0	0
合計	339	41	12	25	4	0

※ H30.3月末時点

＜各構造物の平成30年度の点検予定＞ 全道路管理者の合計

道路施設	管理施設数	H26点検実施数	H27点検実施数	H28点検実施数	H29点検実施数	H30点検計画数
橋梁	20,121	1,210	4,460	4,535	4,326	5,587
トンネル	295	22	18	90	102	63
道路附属物等	339	133	44	28	41	92

＜最優先で点検すべき橋梁の平成30年度の点検予定＞ 全道路管理者の合計

道路施設	管理施設数	H26点検実施数	H27点検実施数	H28点検実施数	H29点検実施数	H30点検計画数
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	174	43	56	16	34	25
跨線橋	103	24	32	21	14	12
緊急輸送道路を構成する橋梁	2,538	326	601	626	400	585

※跨線橋は、歩道橋(跨線橋)を含む

平成30年度 メンテナンス研修等の取り組み

①道路構造物管理実務者研修（九州技術事務所）

- ・九州地方整備局では、九州地方整備局職員及び地方公共団体等の職員を対象に「道路構造物管理実務者研修」を実施しています。
- ・現時点での応募状況は以下のとおりです。

H30.6.30現在

	橋梁初級Ⅰ（Ⅰ期） （募集終了）	橋梁初級Ⅰ（Ⅱ期） （定員40名）	橋梁初級Ⅱ （募集終了）	トンネル初級 （募集終了）	機関別 合計
	8月6日～8月10日（5日間）	10月1日～10月5日（5日間）	8月27日～8月29日（3日間）	10月9日～10月12日（4日間）	
整備局	6	3	12	11	32
福岡県	4	0	1	1	6
佐賀県	8	2	4	0	14
長崎県	0	0	4	1	5
熊本県	1	2	0	0	3
大分県	2	2	3	2	9
宮崎県	5	4	4	3	16
鹿児島県	5	3	2	4	14
その他（公社等）	2	2	4	1	9
合 計	33	18	34	23	108

《参考》 研修の目的

橋梁初級Ⅰ研修	道路橋、土工構造物等の定期点検に関して、最低限必要な知識と技能を習得することを目標とする。（職員自らに定期点検を行わせる場合の第一ステップ）
橋梁初級Ⅱ研修	道路橋に関する点検の知識、並びに補修・補強の工法選定の判断に必要な基礎的知識を習得することを目標とする。
トンネル初級研修	トンネルの定期点検に関する最低限必要な知識と技能、及び道路トンネルの補修・補強の基礎的知識を習得することを目標とする。



橋梁初級Ⅰ研修の状況

②橋梁点検現場研修開催予定(直轄)

目的：地方公共団体の職員の技術力育成のため、点検要領に基づく点検に必要な知識・技能等を取得するための現場研修

○橋梁点検現場研修会

開催日：平成30年10月頃(コンクリート橋)
場所：国道57号 江津高架橋(上り)
参加者：20名程度

○橋梁点検現場研修会

開催日：平成30年11月頃(鋼橋)
場所：国道3号 氷川橋
参加者：20名程度



江津高架橋(上り)全景



氷川橋全景

③県・市町村担当者向けメンテナンス研修開催予定(熊本県)

場所: 熊本県建設技術センター	参加人数
○6月5日道路メンテナンス(初級)	69名
○6月15日コンクリート品質管理	95名
○6月22日アスファルト舗装	93名
○7月12、13日橋梁の補修・補強	113名
○8月23、24日構造物の補修・補強	100名(予定)
○10月25日、26日橋梁技術(橋梁点検研修会)	100名(予定)



④耐震補強工事現地見学会の開催予定(NEXCO)

目的: 地方公共団体の職員の技術力育成のための、熊本地震に伴う損傷橋梁に対する耐震補強の現場見学会

- 耐震補強工事現地見学会
- 開催日: 平成30年10月頃
- 場所: 託麻橋(熊本ICランプ橋)
- 参加者: 20名程度

